



The Y's Men's Club of Kyoto  
**ZERO**  
since 2010

2

2014  
FEBRUARY

2月10日発行  
第4巻 第8号 通巻39号

**Bulletin**  
CHARTERED 2010



◆今月の聖句 マタイによる福音書 18章4節

自分を低くして、この子どものようになる人が、  
天の国でいちばん偉いのだ。

クラブ会長主題：何事にもチャレンジを!! クラブ会長：竹園 憲二

国際会長主題："Go Ye Into All The World" "全ての世界に出て行こう"

国際会長：Poul V.Thomsen(デンマーク)

アジアエリア会長主題："Start Future Now" "未来を始めよう、今すぐに" アジア会長：岡野 泰和

西日本区理事主題："Attend club meetings with a clear motive to make the most of them."

"志をもって例会に参加し、学びの機会をもちましょう。" 西日本区理事：高瀬 稔彦

京都部部長主題："Let us join hands!" "さあ!手を取り合ってワイズの輪を広げましょう!" 京都部部長：桂 厚子



第4期 交流委員長 熊本祐滉

陰極まると陽生じ、陽極まると陰生ず。

新月になった瞬間、月は満ちてゆき、満月になった瞬間、月は欠けてゆく。

私たちは生まれた、ということは死に向かって歩いていること。

何かが終われば、何かが始まる。時代が始まれば、必ずその時代は終わる。

慢心すると、墮ちてゆく。それは自然の流れであり、普通のこと。

常にこの繰り返りで流れは止まらない。

長所と短所は実は同じもので見る角度が違うだけ。

神様は願いと真逆なものを下さる、という。「お金持ちになりたい!」なら、貧乏を。

「幸せになりたい!!」なら、苦勞を。「健康になりたい!!!」なら、病気を。

なぜならば、貧乏の時に金銭の大事さに気づき、苦勞の時に今までの幸せに気づき、病気の

時に健康の有難さに気づく。私たちは両極がないと、判断ができないし気付けない。

第4期目を迎えたZEROクラブも同じで、陰があって、陽もあるお互いのバランスが良いから

こそクラブが保たれていると感じます。

ZEROクラブのメンバーであるからこそ気づける事を大切に思いクラブ活動に参加していきたいです。

## 1月第1例会「合同新年例会」

平成26年1月8日

新年明けましておめでとうございます。

1月8日にANAクラウンプラザホテル京都にて(ウイングワイズメンズクラブ・ZEROワイズクラブ・トゥービーワイズメンズクラブ)3クラブ合同新年例会が開催されました。

いつもとは違うホテルでの今年初めての例会、そして3クラブ合同と言う事で新鮮な感覚と改めてワイズメンズクラブのメンバーの多さを実感し少し緊張しました。

ZEROクラブに入会して約二年が経ちましたが、(ウイングクラブ・トゥービークラブ)の方々もまだまだ知らない方が多く、人見知りな自分はなかなか自発的に話しかける事ができませんが、向こうから色々話しかけてくださり、改めてワイズメンズクラブの暖かさを実感できました。

そして、一字の書き初めは毎年恒例なのか?まだ2回目の新年会なので良くは分かりませんが、今回の書き初めは、クラブ対抗で人の背中に書く伝言書き初めでした。

ZEROクラブからは若手が集められ、伝言ゲームがスタート!漢字の苦手な私は少し緊張しましたが、『賀』の一字でスターターだった為、間違える事も無く伝える事ができましたが、やはり我がZEROクラブ1番の問題児!石飛さん!!笑(怒られちゃいますね...)訂正してZEROクラブ1番のムードメーカーって事におきます。

ボケか本気かは定かではありませんが、お約束って言っているほどのボケっぷり!!! (笑)みなさんに笑顔を提供してくれました。

少なくとも私は彼のお陰で何時も楽しい時間を過ごさせて頂いています。

『この場を借りて改めてお礼を言いたいです、石飛さん!ありがとうございます。』

そして例会の開催回数もウイングワイズメンズクラブ第637回・トゥービーワイズメンズクラブ第396回・そして我がZEROクラブはまだ第80回とまだまだ歴史は浅いですが、個性的なキャラが多い我がZEROクラブが改めて好きになりました。

伊神 康喜



ふと気付けば早いもので昨年の4月にZEROクラブに入会させて頂き、10ヶ月になろうとしております。

ようやくではありますが、Y'sメンズクラブとしての活動は何か? ZEROクラブとして集まる事の意味もおぼろげながら分かってきた様に思います。

全ての行事がはじめての中、今回は年初めの新年例会に参加させて頂きました。

第一印象として頭に残っているのが、年の始まりとして集まった同志が握手を交わすだけで「今年も共に同じY'sとして頑張ろう!」という、明るい雰囲気印象的でした。

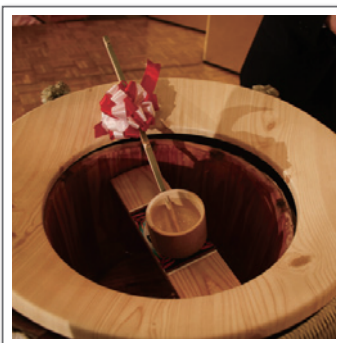
他クラブとの融合もあり、同じテーブルで横になった他クラブY'sとすぐに仲良くなれ、昨年のクラブ内での活動について語り合う事ができました。

なかなか初対面の人と出会い、すぐには談笑できる事は難しいとは思われますが、このクラブで同じ志を持った同志だからこそその光景だと思いました。

また、背中に文字を順番に書き当てていくというゲームも大変盛り上がり、他クラブの方々の名前も多く知るきっかけになったので良かったと思います。

今年も、ぼちぼちではありますがY'sのメンバーとして皆様のお役に立てれば幸いに思います。

石倉 直人





## 1月第1例会「合同新年例会」

平成26年1月8日

3クラブ合同の新年例会は、出席者も多く、とても華やかでした。にぎやかな雰囲気の中、テーブルも3クラブのメンバーがミックスされた座席配置で、いろんな方と交流することができました。

私個人としては諸事情によりなかなか例会参加ができない中、本当に久しぶりに出席した例会でしたが、クラブのメンバーほぼ全員が「よく来たね」と話しかけてくれて、本当に嬉しく、素晴らしい仲間に出会っていると再認識した例会でした。

楽しかったのですが、とても残念だったのは喫煙のため席はずされる方がとても多く、テーブルに残された者はポツンとってしまったことです。

合同例会でよく知らない者同士が同じテーブルにいるからこそその配慮も必要な、と感じました。

それぞれのクラブのカラーも少しずつ感じる事ができ、他クラブの良さ、自クラブの良さ、それぞれを認識できた例会でした。

澤井 美智子

## 1月第2例会「TOF例会」

平成26年1月23日

最初に、「お前が言うなよっ!」とのご批判を恐れずに書きます。結論から言えば、先日開催されたTOF例会つまり「断食例会」は、少なくとも「日付変更時間までは断食を続けるべきだったのではないか?」と思っています。

まだまだ働き盛りのメンバーを多く抱える当クラブとて、この飽食の時代、たかが一食くらい抜いても命に別状があるはずもなく…二次会の出欠が求められた時、やっぱり食べるんかいな、とは思ったものの、これに異議を唱える勇気がありませんでした。タイミング的にも来る3月1日のSORD支援イベントを控えて、この日集まったメンバーで、「おいしいものを頂いた振りをして」と例えばTOFファンドとかにしていれば、実にCool!だったな〜と。

SORDと言えば、当支援事務局の新人K君。自らが希少難病患者であるにも関わらず、彼はSORDの支援活動にいたく共感して、それまでの東京での安定したサラリーマン生活を投げ打って、単身京都に赴任。下半身を千本針で刺されているような痛みと高熱感に24時間365日、苛まされながら、我々の前では決して笑顔を絶やさず、一切のグチもこぼさず、支援活動にまさに全身全霊を傾けています。そのK君。経済的か、体調面の理由なのかは定かではありませんが、「一日一食」の食生活を続けているそうです。

私如きにこんなストイックな生き方など、到底できるわけありませんが、前述のTOF例会。

年にたったの一度くらい…皆さん、どうでしょうか?

佐古田 正美



1月第二例会恒例となったYMCAでのTOF例会。

これも恒例の半期総会は、会長が欠席のため次回に延期。会長代理挨拶のはずの岸田副会長も急な仕事で遅刻、急遽、佐古田書記の挨拶となった。

諸報告の後、堂脇CS委員長からTOFのプログラムの意義、資金の使われ方の報告があった。

会場がYMCAの教室という雰囲気からか、活発な質問が飛び交い、適度に時間を消化、早めの閉会となった。

折角開会の挨拶を考えていたのに…、と悔しそうな岸田副会長の思いをくみ、閉会の辞をお願いし、イレギュラー満載のTOF例会はこうして無事終わった。

田中 光一

## 1 The Y cup 第1回京都ミニバスケットボール大会実施! ご協力をお願い

公益財団法人京都YMCAでは創立125周年記念とまたYMCA通して京都に入ってきたバスケットボールが100年を迎える記念として下記要項で小学生のバスケットボール大会『The Y cup 京都ミニバスケットボール大会』を開催することとなりました。

京都市内の小学校のバスケットボールチーム(公募)と京都ミニバスケットボール連盟登録チーム、京都YMCAのユースバスケットチームが男女それぞれ8チーム参加し2日間にわたりリーグ戦で行われる大会です。優勝チームには、YMCA杯(The Y cup)が渡されます。

各クラブの皆様には、当日の昼食屋台の協力とパンフレットの広告協力をお願い致します。

またこの大会にスポンサーとなつていただける企業を集めているところです。ご紹介もよろしくお願い致します。



日程 2014年3月15日(土)16日(日)  
場所 京都市横大路運動公園体育館

## 2 創立125年会員集会

日時 2月15日(土) 午後5時～  
場所 京都YMCA 三条本館 地階 マナホール  
内容 第1部 創立記念感謝礼拝 奨励 佐藤 博 牧師(日本キリスト教団丸太町教会)  
第2部 創立125周年記念講演「日本YMCAに連なる人々-日本YMCA人物事典発刊にあたり-」  
講師 齊藤 實氏(YMCA史学会理事長・東京YMCA元副総主事)

ちゃんとして

## 母ちゃん!

絵・文 タカクラミエ



ハイハイが始まるとされる8ヶ月を過ぎても、ミエウはいっこうに這わない。うつぶせにし、パンなどの好物を目の前に置くと、パンめがけて必死にもがくが、5分たってもおぼろげに前進できず、泣き出すのが関の山だ。

その結果、水平に活動範囲をを広げるのを諦め、高みを目指した。ローテーブルやテレビ台につかまり立ちし、上に置いてあるものをつかみ、しゃぶるようになった。それまでは誤飲を危ぶまれた物を床に置かなければよかったのに、たちまちその範囲がテーブルの上など手が届く

ところ全般に広がったのだ。全ての平らな場所には物を置かないでほしい。『片付けられない君』なワタシなので、ミエウのこの成長には泣かされた。床をキレイにしておくだけでも大変だったのに、手が届くと全部か!? とんだけちゃんとして言うのか! 子育ては自分育て、とはよく言ったものだと思う。(ライター)

毎日新聞より転載



## HAPPY BIRTHDAY!

2月 7日 藤井 隆  
2月13日 佐古田 正美  
2月18日 谷口 みゆき

## <強調月間> 2月 TOF・CS・FF

ひとりひとりの思いやりの心が大きな実を結びます。献金にご協力ください。生雲文枝 地域奉仕・環境事業主任

### 1月例会出席

第1例会		第2例会	
メンバー	20/22名	メンバー	15/22名
メネット	0名	メネット	0名
コメット	0名	コメット	0名
ゲスト	0名	ゲスト	0名
月間出席者数 21名/22名		月間出席率 95.5%	

### TOF・CS・FF

TOF	0 pt
CS	0 pt
FF	0 pt

### ニコニコ

1月	5,000円
累計	73,000円

### ファンド

1月	12,942円
累計	211,188円

会長 竹園憲二

副会長 河村栄二  
岸田靖司

書記 高倉英理

書記 佐古田正美

会計 西村寛子